

令和5年度第2回宮城県地域医療構想調整会議（石巻・登米・気仙沼区域）会議概要

宮城県保健福祉部医療政策課

【議事（1）】について（「その他質問等」含む）

委員（敬称略）	所属	御意見・御質問	回答
水戸 恵美子	宮城県看護協会 気仙沼支部理事	紹介受診重点医療機関となる意向があれば、地域性により専門科がなく、基準や紹介率の水準を満たさなくても、調整会議で協議し、選定されることは良いと思います。 今後協議対象医療機関が増えることによって、それぞれの役割分担が明確になることを期待します。	引き続き、適切な制度運用を進め、役割分担の明確化による患者の流れの円滑化や医師の負担軽減等が図られるよう、課題解決に努めてまいります。
椎葉 健一	石巻市立病院 院長	紹介受診重点医療機関は、いくつかの資料等から一般病床200床以上の病院が対象であると理解しておりました。（当方の認識の相違でしたら申し訳ありません）病床数の要件は元々無かったのでしょうか。 もし要件変更されているのであれば、変更された時期や理由を御教示願います。	国が示した「外来機能報告等に関するガイドライン」（令和5年3月31日改正）によれば、紹介受診重点医療機関については、基準とされている紹介受診重点外来割合を満たさない場合であっても、選定対象となる医療機関の意向と協議の場の結論が一致すれば、選定されることになり、病床数の制約はありません。 一方で、紹介受診重点医療機関になることによって生じる、診療報酬や定額負担の徴収については、一般病床200床以上の医療機関に限られております。
椎葉 健一	石巻市立病院 院長	仙石病院に関しては、基準を満たしているため選定することに問題はありますが、参考事項の紹介率・逆紹介率の水準と値の差についてはどのように考えればよいのでしょうか。	重点外来割合の基準を満たさず、紹介受診重点医療機関となる意向がある場合においては、紹介率・逆紹介率等を活用して協議を行うこととされております。 一方で、仙石病院に関しては、重点外来割合の基準を満たしていることから、この紹介率・逆紹介率は、医療機関の情報を把握する参考情報として記載しております。また、御指摘のとおり紹介率・逆紹介率が水準よりも低くなっておりますが、今回、紹介受診重点医療機関に選定をすることにより、患者と関係医療機関双方の意識づけとなり、地域医療の分化・連携が推進されていくことを期待しております。
勝又 貴夫	石巻健育会病院 院長	石巻赤十字病院は問題ないが、仙石病院については紹介率・逆紹介率ともに水準に達しておらず、外来機能を明確化するという趣旨からは紹介受診重点医療機関に該当するのか疑問がある。 しかしながら、仙石病院が紹介受診重点医療機関になったとしても地域医療に重大な支障は起こさないと考えます。	
岩淵 昇	健康保険組合連合会 宮城連合会 常任理事	今回の選定に対しては何もないが、登米・気仙沼には紹介病院が無く、栗原にもない。受診する患者や家族としては地域で診療を受けられる体制が望ましいので、引き続き検討してほしい。	御指摘のありました地域においては、登米市立登米市民病院、気仙沼市立病院及び栗原市立栗原中央病院が、地域医療を支援する機能を有する「地域の中核的な病院」と位置付けられております。これらの病院や二次医療圏単位で整備されている地域医療支援病院を中心として、地域医療の提供体制を検討していくことが望ましいと考えておりますので、引き続き医療連携等の支援に努めてまいります。

【議事（２）①二次医療圏の見直し検討】について

委員（敬称略）	所属	御意見・御質問	回答
該当なし			

【議事（２）②二次医療圏・構想区域ごとの課題と取組の方向性】について

委員（敬称略）	所属	御意見・御質問	回答
水戸 恵美子	宮城県看護協会 気仙沼支部理事	石巻・登米・気仙沼医療圏の論点整理の6事業 課題について 気仙沼地域の分娩件数は減少傾向にあるものの、他地域での分娩となると1時間を要する地域性があり、身近なところで「安心して産み育てる」場所を確保するため、地域周産期母子医療センター（気仙沼市立病院）の果たす役割は重要であり、産科医師・助産師の確保が必要である。	安心して子どもを産むことのできる体制の確保のため、地域周産期母子医療センターの役割は重要であると認識しており、引き続き、気仙沼地域の周産期医療提供体制の確保に努めてまいります。
椎葉 健一	石巻市立病院 院長	・地域包括ケア病床を回復期機能病床と捉え、一般急性期病床の一部を地域包括ケア病床に転換することを検討しましたが、当院は療養病棟内に地域包括ケア病床を設置しているため、制度上の制約で実現できません。 ・精神疾患を有する患者の救急対応、患者受入後の相談体制及び医療連携について、地域での検討が必要であると思います。 ・適切な救急要請について、市民への啓発を強力に進める必要があると思います。	地域医療構想の推進においては、国で定める診療報酬の仕組みとの兼ね合いも含め、様々な課題があると認識しておりますが、皆様に御理解をいただきながら引き続き検討・協議を進めてまいりたいと考えております。 精神疾患を有する患者の救急対応については、救急搬送実施基準精神科専門部会において、精神疾患の救急搬送実施基準の策定を検討しております。患者受入後の相談体制、一般医療機関及び精神科医療機関の連携体制を整備していくことが望ましいと考えておりますので、引き続き検討してまいります。 救急要請については、これまでも「#7119」や「#8000」等の電話相談体制を整備することにより、適切な救急要請の推進に努めてきたところですが、引き続き、救急医療機関の適正利用について、普及啓発に努めてまいります。
勝又 貴夫	石巻健育会病院 院長	①過去は石巻・登米・気仙沼医療圏の検討を行ってきたので他の医療圏は答えられない ②自分が該当する医療圏であっても、石巻地域しか詳細を知らないのので、登米・気仙沼については不明 ③石巻地域においては2次救急対応の救急病院は数カ所あるが、機能を十分発揮しているとはいえ、本来3次救急対応の石巻赤十字病院が2次3次対応を担っている所に無理がある ④6事業になったのは災害医療が加わったためと認識していたが、参考資料3では新興感染症の医療提供体制となっており、過去の会議で新型コロナに対する登米地区の論議が出たが方向性が見えず終了している	これまでも全ての医療圏に救命救急センターを指定するなど、各医療圏における救急医療体制の整備に努めてきたところですが、引き続き、地域の救急医療機関の役割の明確化や連携体制の整備により、増加する救急患者の受入体制の整備に努めてまいります。 なお、国の見直しにより、6事業目として「新興感染症発生・まん延時における医療」が新たに追加されることとなりましたが、地域医療構想調整会議でいただいた御意見を踏まえながら、新型コロナウイルス感染症で浮き彫りとなった地域医療の課題や対応の方向性について、引き続き検証を進めてまいります。

橋本 泰仁	石巻市保健福祉部 部長	「石巻・登米・気仙沼医療圏 医療圏別の課題の論点整理」表中、現状欄に「休日当番体制を郡市医師会単位で運営しているが、体制確保（維持）の負担が増大している」とあり、課題として「関係者での検討が必要である。」との記載があるが、石巻地域（石巻市・東松島市・女川町）では、石巻市医師会、桃生郡医師会の2医師会並びに石巻赤十字病院、石巻市立病院、石巻市立牡鹿病院、齋藤病院、真壁病院、仙石病院の6医療機関による病院群と協定を締結し、石巻地域の休日及び夜間における一次救急医療及び二次救急医療の体制を確保しており、その医療提供にかかる費用の一部を2市1町にて補助していることから現状、課題とはなっていない。	休日当番体制については、郡市医師会単位で運営いただいているところですが、その人員の確保等に当たっては、令和6年度以降に始まる医師の働き方改革の影響もあり、負担が増大するものと認識しているところです。
石井 正	東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授	石巻赤十字病院への搬送集中が進んでいることから、同院の機能維持のためにも同院の急性期から回復期に向かう入院患者の速やかかつ効率的な転院受け入れ体制の充実が望まれる。	御指摘のとおり、石巻赤十字病院からの急性期を脱した患者の受入れ体制の整備が課題の一つと認識しておりましたので、計画への反映を検討してまいります。

【議事（2）③外来医療計画の見直し】について

委員（敬称略）	所属	御意見・御質問	回答
勝又 貴夫	石巻健育会病院 院長	紹介受診医療機関は実際の紹介・逆紹介が多くないと、経営的に通常診療を減らした外来診療体制はとれないと考えている。	紹介受診重点医療機関は、外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るものですが、御指摘のとおり医療機関の経営にも影響があるものと認識しております。紹介受診重点医療機関になる意向をお持ちの場合は、この点も考慮いただきながら、御検討いただきたいと考えております。

【議事（2）④その他質問等】について

委員（敬称略）	所属	御意見・御質問	回答
		該当なし	

【その他 会議全体への意見等】について

委員（敬称略）	所属	御意見・御質問	回答
椎葉 健一	石巻市立病院 院長	3つの区域の共通課題と各圏域の課題を分けることなく議論するのは限界があるのではないのでしょうか。	地域医療の課題については、御指摘のとおり全県域での共通課題と、該当する医療圏の特有の課題があると認識しておりますが、今回は、課題の洗い出しをするために、委員の皆様からの御意見をいただくこととしました。今後につきましては、今回出された御意見も踏まえて、共通課題と医療圏の特有の課題を整理していく必要があると考えております。
勝又 貴夫	石巻健育会病院 院長	①WEB開催を否定するものではないが、項目に対する説明が通常開催より明らかに不足している Yes/no返答を求めるのであれば、もっと丁寧にわかりやすい説明を希望する ②今まで行ってきた広域2次医療圏が県の基本方針であれば、2次医療圏見直しもそれに沿った方向としてyes回答した	今年度は、計4回の開催を見込んでいたことも考慮し、今回は書面開催とさせていただきますが、引き続き分かりやすい資料作成や柔軟な伝達方法を検討してまいります。また、委員の皆様の資料の査読時間が確保できるよう、引き続き努めてまいります。
岩淵 昇	健康保険組合連合会 宮城連合会 常任理事	資料提供から回答までの時間が非常に短かったため、回答までもう少し時間をいただきたい。書面開催なので文面からの判断となりますので、資料の補足説明があると助かります。	